

# 地下鉄の横枠掲出やラジオCM活用

健康総合対策事業委員会



健康総合対策事業委員会が1月8日、本会で開かれた。まず本会の大神文広事務局次長が「国において、『団塊の世代』のすべてが75歳以上となる2025年に向け、国民が健やかに生活し、老いることができる社会を目指して、予防・健康管理に係る具体的な取組みを推進することで、5兆円規模の医療費、介護費の効果額を目標とする取組みの推進がまとめられました」とした上で、「国保事業の安定化、医療費適正化対策に資するため本委員会において活発なご意見をお願いしたい」と挨拶した。

平成26年度国保連合会保健事業等の報告、平成27年度国保連合会保健事業等の経過報告がされた後、平成28年度国保連合会保健事業の計画(案)について協議し

た。この中で、特定健診・特定保健指導受診率向上事業の本会PRポスターについては、昨年度と同様、府内の医療保険者で構成する「京都府医療保険者協議会」のポスターと同じデザインで作成するが、キャッチフレーズの文言を上下入れ替えることとした。ポスターの掲出については、新たに京都市営地下鉄(烏丸線・東西線)の車内に横枠(窓上のポスター枠)掲出し、訴求効果を図る。さらにラジオCMを活用し特定健診等の受診率向上を府内全域にアピールすることにした。

また国保料(税)納入促進・収納率向上事業についても、平成29年3月からポスターの横枠掲出や新たにラジオCMも行う。